

第3学年英語科 学習指導案

平成28年10月24日（月） 第5校時

指導者

1 単元構想図

単元名 PROGRAM 6 Let's Talk about Japanese Things
教材名 Sunshine English Course 3 (開拓堂)

◆学習の流れ

第1・2時

- ☆単元の見通しをもつ。
語と語のつながりなどに注意して、日本のものについて説明する文を、後置修飾を含む英文5文以上で正しく書く。(本単元の目標)
○後置修飾(現在分詞)の文の構造を理解する
◆絵を見て絵の中の人物を現在分詞の後置修飾を用いて説明する。

第3・4時

- 後置修飾(過去分詞)の文の構造を理解する
◆日本の遊びやおもちゃについて過去分詞の後置修飾を用いて説明する。

第5時

- 人やものについて、口頭で説明する。
◆「日本の伝統的なおもちゃ」についての文をもとにして、絵や写真について描写・説明をする。

第6時

- お祭りなど、日本のものについて紹介する英文を書き、読み合う。
◆後置修飾を使って、日本文化について説明する英文を書く。

第7時

- ALTにプレゼンをする。
◆ALTに前時で書いた文をプレゼンし、それに対する質問を受け、答える。

◆意識の流れ

【生徒の実態】

- ペアやグループ活動に積極的に取り組める。
- 「書くこと」に苦手意識があり、語彙力に乏しく正確さに欠ける。

- 説明される人やものが先にきて、説明はすぐ後にくるんだな。
- 現在分詞は動きがあるものや人を説明できるんだな。

- 現在分詞と語の順番は一緒だな。
- 過去分詞はものを説明するときに便利だな。

- 意味によって、現在分詞や過去分詞の使い分けをしないといけないな。

- 外国人に日本のものについて紹介するには何がいいかな。
- わかりやすくするには、どんな工夫が必要かな。

- 相手が聞きやすいようにするには、どうしたらいいかな。

【単元でつけたい力】

日本のものについて説明する文を、後置修飾を含む英文5文以上で正しく書く。(「書くこと」 - (イ))

2 単元について

(1) 単元観

この単元は、学習指導要領において、「内容の取り扱い」の中に規定されている「外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと」の点を踏まえ、日本の文化を英語で表現することをねらいとされている。セクション1では、マイクが、美術の授業で興味を持った「鳥獣戯画」についてインターネットで調べ、日本の漫画の原点と言われていることを知るという内容が扱われている。また、セクション2では由紀が日本の伝統的なおもちゃであるけん玉を紹介し、それをヨーヨーと比較しながら報告するという内容である。セクション3では、お祭りなど日本の文化について紹介する内容が扱われているが、自文化についての知識はあっても、それをその知識がない相手に説明することは母国語でも難しいことから、それらを英語で表現する際に、どのように表現すれば的確に理解してもらえるかを意識しつつ、説明を加える必要がある。言語材料としては、現在分詞および過去分詞の後置修飾が扱われている。ALTに日本のものについて説明する英文を書く活動を通して、学習指導要領に示された言語活動「書くこと」－（イ）「語と語のつながりに注意して正しく文を書く」力を養うのに適した単元である。

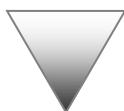
(2) 生徒観

本学級の生徒は、班活動やペアワークに積極的に参加することができる生徒が多いが、その反面英語に対して苦手意識をもった生徒が多く、ペアや班で活動ができても、個人で発表することが苦手な生徒が多い。また、積極的に発言できなかったり、英語を使用する場面でなくともクラスメートとコミュニケーション活動に参加することが難しかったりする生徒もある。書く活動では積極的に書こうとはするが、英語力が十分でなく、自分の思うように書いて表現することができず悩んだり、途中で諦めたりしてしまう生徒もいる。1学期に行ったアンケートでも、四技能の中で「書く」ことに一番苦手意識を持っている生徒が全体の52%であり、高知県学力定着状況調査の結果でも、「書くこと」の正答率が「聞くこと」より42.7%低く、「読むこと」より29.8%低くなっている。

(3) 指導観

本校の研究主題は、「知識・技能を活用して考えさせる授業の研究」であり、自分で考え、考えたことをしっかりと話せる、書ける生徒を目指している。本単元は、セクション1で現在分詞の後置修飾を、セクション2で過去分詞の後置修飾を学習し、セクション3では、セクション1、2で学んだ後置修飾を活用し、町内会のお祭りや村祭りで使う日本のものについて英語でどう表現するかを学習する単元である。ゴールの活動では、日本について何か一つテーマを決め、そのテーマについて紹介する文をALTの前で発表する活動を設定している。そのために、日本のものについて知らないALTに、どうすればそのテーマについて理解してもらえるか、どういう流れで紹介すればいいのかなど、文脈を意識させるよう指導したい。またゴール活動に向けて、生徒が活用できる英語の表現を1時間1時間増やしていくような活動を入れていきたい。本単元の後置修飾は、PROGRAM7、8において導入される関係代名詞による後置修飾を理解する上での基礎となるので、修飾される名詞と後置修飾される部分の関係をしっかりと理解させる必要がある。

3 単元の目標



- ・日本のものについて説明する文を、後置修飾を含む英文5文以上で正しく書く。
- ・読み手が理解しやすくなるように、書いたり書き直したりしている。
- ・現在分詞・過去分詞で修飾された文の構造を理解する。

4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①読み手が理解しやすくなるように、書いたり書き直したりしている。	①日本のものについて説明する文を、後置修飾を含む英文⑤文以上で正しく書く。		①現在分詞で修飾された文の構造を理解している。 ②過去分詞で修飾された文の構造を理解している。

5 指導と評価の計画 (全8時間)

時	学習内容	評価					評価方法
		関	表	理	知	評価規準	
1	・単元の見通しを持つ。 ・絵の中のものや人の情報を聞き取る。 ・現在分詞の後置修飾を用いた文の構造を知る。 ・口頭練習する。 ・絵を見て現在分詞の後置修飾の英文を作る。			○		エ① (形 現在分詞の後置修飾を用いた英文を正しく書いている。)	後日、ペーパーテスト (ワークシート点検)
2	・「鳥獣戯画」について書かれた文を読んで内容を理解する。 ・本文を読み、日本文化を紹介する際に使える表現をチェックする。			○		エ① (形 現在分詞が使われた英文を読んで内容を理解している。)	後日、ペーパーテスト (ワークシート点検)
3	・絵を見て、何のことについて説明されているか聞き取る。 ・過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を知る。 ・口頭練習をする。 ・絵を見て過去分詞の後置修飾の文を作る。			○		エ② (形 過去分詞の後置修飾を用いた英文が正しく書けている。)	後日、ペーパーテスト (ワークシート点検)
4	・けん玉について書かれた文を読んで内容を理解する。 ・本文を読み、日本文化を紹介する際に使える表現をチェックする。			○		エ② (形 過去分詞が使われた英文を読んで内容を理解している。)	後日、ペーパーテスト (ワークシート点検)
5	・今なにかをしている人やもの、何かされているものの詳しい説明をする。 ・日本文化を紹介する際に使える表現をチェックする。 ・構想シートに自分が紹介したい日本の文化について書き込む。			○		エ①現在分詞で修飾された文の構造を理解している。 エ②過去分詞で修飾された文の構造を理解している。	(ワークシート点検)

6	<ul style="list-style-type: none"> ・構想シートを使い日本独自のものについて説明する文を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・チェックポイントを確認し、それをもとに班のメンバーの文をチェックし合い、アドバイスをする。 ・チェックされたものを手直しする。 	<input type="radio"/>			<p>ア① (読み手が理解しやすくなるように、書いたり書き直したりしている。)</p>	(観察・ワークシート点検)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTに日本独自の物について英語で説明し、それに関するALTの質問に答える。 	<input type="radio"/>			<p>イ① (文のまとまりを意識しながら、後置修飾を用いて、日本独自のものについて説明する文を5文で書いている。)</p>	(作品点検)

MEMO